

選択場面 ①

【隣町でのライオン脱走事件】

拡散を頼まれたとき、どうしましたか？



- Ⓐ **すぐ拡散する** **危険！** 偽情報・誤情報を拡散してしまうおそれがあります！
- Ⓑ **調べてからにする** **Good！** 投稿された情報の出所や信ぴょう性を確認しましょう！

選択場面 ②

【店員の不適切な行動の投稿】

拡散を頼まれたとき、どうしましたか？



Ⓐ すぐ拡散する

危険！

個人のプライバシーを侵害し、
誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)につながる危険が
あります！

Ⓑ 拡散しない

Good！

個人のプライバシーを侵害し、
誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)につながることは
拡散してはいけません。

*「誹謗中傷」・・・【根拠のない情報を広めて相手の信用を低下させること】

アドバイス

① SNSやネット上の偽・誤情報に自分もだまされることを知る

SNSでは、偽・誤情報(フェイクニュース)が日々生み出されています。情報の真偽を確認すること(ファクトチェック)は大事ですが、全ての情報を見極めるのは困難です。「自分もだまされるかもしれない」という自覚を持ってSNSを利用することが大事です。

② 安易に情報を拡散しない

情報が嘘(フェイク)かもしれないので、慌てて拡散せずに、2~3日判断を保留するなど、時間をおいて考えてみることも大切です。

③ 個人を特定する情報は拡散しない

個人を特定する情報を拡散すると、名誉毀損(めいよきそん)で訴えられたり、損害賠償(そんがいばいしょう)を請求される可能性があります。直接個人を特定できる情報でなくても、他の情報と組み合わせることで、個人の特定が可能であれば、その情報も個人情報とみなされます。